

各部の名称とモード切替え

湯温測定について 本品はお湯の表面温度を検知します。お湯が対流していないときは、表面温度とお湯の深部に温度差が生じます。その様な場合はお湯をかきまぜてからご使用ください。

「- / MIN.」ボタン

- 時計モード時
 - ・時刻合わせで「時」や「分」を戻します。
- タイマーモード時
 - ・カウントダウンタイマーで「分」を合わせます。
- 湯温アラームモード時
 - ・設定温度を下げます。(最低温度:35℃まで)

「MODE」ボタン

押すごとにモードが切り替わります。

AM 10:38 (時計モード) SET 42.0 (湯温アラームモード)

03:00 (タイマーモード) TEMP 23.5 (温度モード)

※水面に浸かっているとき「時計モード」「タイマーモード」には切り替わりません。

「START/STOP」ボタン

- 時計モード時
 - ・長押し(3秒間)で時刻合わせを開始します。
- タイマーモード時
 - ・カウントダウン/カウントアップタイマーの開始と停止をします。
- 湯温アラームモード時
 - ・湯温アラームの開始と停止をします。

「+ / SEC.」ボタン

- 時計モード時
 - ・時刻合わせで「時」や「分」を進めます。
- タイマーモード時
 - ・カウントダウンタイマーで「秒」を合わせます。
- 湯温アラームモード時
 - ・設定温度を上げます。(最高温度:45℃まで)

電池ぶた

温度センサー

水検知センサー

センサー部について

2つのセンサー(温度/水検知)部に汚れが付着すると、精度の低下や誤作動する恐れがあります。汚れが付着している場合には、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた布で、汚れを拭き取ってください。

水検知センサーによる自動モード切替え

- 水検知センサー(2箇所)が同時に水に浸ると湯(水)面であることを検知し、「温度モード」に切り替わります。
- 水検知センサーが水から離れると「空気中」であることを検知し、「時計モード」に切り替わります。

●空気中から水面に投入した場合
「温度モード」に切り替わります。

●水から空気中に取り出した場合
「時計モード」に切り替わります。

▲マークが表示される

時計モード	TEMP 25.8
タイマーモード	
湯温アラームモード	

▲マークが消える

温度モード	10:37
湯温アラームモード	

▲マークが表示される

▲マークが消える

各モード中の操作および表示

時刻の合わせ方<時計モード> 時計モード以外では操作できません。

表示	1.時刻合わせ開始	2.「時」合わせ	3.「時」を決定	4.「分」合わせ	5.時刻合わせ終了
表示	12:00	10:00	10:00	10:38	10:38
操作	START/STOP 3秒間押し続ける 「時」が点滅し始めます。	- / MIN. + / SEC. 押すごとに(戻る) (進む) 「時」が変わります。	START/STOP 1回押す 「時」を決定し、「分」が点滅します。	- / MIN. + / SEC. 押すごとに(戻る) (進む) 「分」が変わります。	START/STOP 1回押す 「分」を決定し、「時刻合わせ」が完了します。

▲注意 時刻合わせ中に30秒間放置すると、時刻合わせを終了します。

カウントダウンタイマーの操作<タイマーモード>

表示	1.設定時間のリセット	2.タイマー時間設定	3.カウントダウン開始	4.アラームが鳴る	5.アラームを途中で止める
表示	0000	0330	0329	0000	0330
操作	- / MIN. + / SEC. 同時に押す	- / MIN. + / SEC. 2つのボタンを押し タイマーを設定する。 ボタンを3秒間押し続けると、 表示は早送りになります。	START/STOP 1回押す カウントダウンタイマー が動作し始めます。	表示が00M00S になると点滅し、 アラームが約30秒 間鳴ります。	START/STOP 1回押す 最初に設定したタイマー 時間に戻る(リピート機能)

▲注意

- アラームが鳴り始めてから約30秒間経過すると自動的に停止します。
- カウントダウンは最大99分59秒まで設定出来ます。
- 一度設定すると、タイマーの設定時間が記憶されます。(メモリ機能)

カウントアップタイマーの操作<タイマーモード>

▲注意

- 表示を「00M00S」にしてから「スタート/ストップ」ボタンを押すと、カウントアップがはじまります。
- タイマー動作中に「START/STOP」ボタンを押すとタイマーは一時停止します。再び「START/STOP」ボタンを押すと、再スタートします。そのまま継続すると「99分59秒」で停止しアラームが約30秒間鳴ります。

表示	1.設定時間のリセット	2.カウントアップ開始	3.カウントアップ終了(アラームが鳴る)
表示	0000	0001	9959
操作	- / MIN. + / SEC. 同時に押す	START/STOP 1回押す	表示が「99M59S」になるとアラームが鳴った後、自動的に停止し、表示が変わります。 アラーム途中で止めるには、「START/STOP」ボタンを押します。

湯温計の使い方<湯温モード>

お湯に入れると約十数秒〜30秒前後で湯温を測定できます。

温度検知機能

湯温計を湯(水)に正しくセット(右図参照)すると約3秒後に温度が変化し、それから約十数秒〜30秒前後で湯温を測定します。水面では温度検知回数が自動的に増え、短時間での温度測定が可能です。

温度の測定範囲外表示<温度モード>

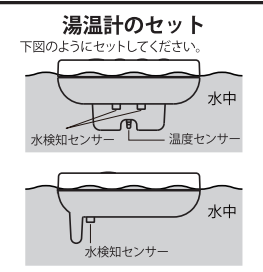
本機の温度測定範囲は0℃〜50℃です。測定範囲を超えた場合は、それぞれ右記の表示をします。

0℃未満 +50℃超

スリープ機能

水面に放置したまま約5分経過するとスリープ状態となり、右図の表示に切り替わります。スリープを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

※タイマー、湯温アラーム動作中および時刻合わせ中はスリープ機能は働きません。それぞれの動作終了後から5分経過すると、スリープ状態になります。



▲注意

湯(水)中に沈めないでください。湯(水)中でボタン操作をしないで下さい。水が浸入し、故障の原因となります。

湯温アラームの操作<湯温アラームモード>

お湯の温度が設定した温度になるとアラームでお知らせします。

表示	1.温度設定	2.湯温アラーム開始	3.設定温度到達(アラームが鳴る)	4.アラームを途中で止める
表示	SET 42.0	TEMP 35.2	TEMP 42.0	10:38
操作	- / MIN. + / SEC. (下) (上)	START/STOP 1回押す	湯温が設定温度に達するとアラームが約30秒間鳴ります。アラーム終了後、表示は「湯温モード」に切り替わり、湯温を表示します。	「START/STOP」ボタンを押す 時計モードに切り替わる

▲注意

- 温度設定は35℃〜45℃の範囲で設定(1℃単位)出来ます。
- アラームが鳴り始めてから約30秒間経過すると自動的に停止します。
- アラームが鳴る前に水から取り出すと、表示が「時計モード」に切り替わり、湯温アラームは解除されます。湯温アラームを再開する場合は、再度「湯温アラームモード」から「START/STOP」ボタンを押してください。

湯温アラームの使い方

現在温度より設定温度を高くする

- 湯温計をお風呂に入れ、現在湯温を確認してください。
- 湯温アラーム温度をセットし、本体をお湯に浮かべ、「追い炊き」もしくは「熱湯の注ぎ足し」をしてください。
- 設定温度に達すると、アラームが鳴り始めます。

現在温度より設定温度を低くする

- 湯温計をお風呂に入れ、現在湯温を確認してください。
- 本体をお湯に浮かべた状態で湯温アラームの温度を設定すると、現在湯温を先に検知するため、現在温度よりも設定温度を低く設定することができます。【水に沈めて操作しないでください】
- ※空気中で湯温アラームをセットすると、現在湯温が設定温度より高い場合、アラームが鳴る為、お湯に浮かべてセットしてください。
- 水を注ぎ足して温度を下げてください。
- 設定温度に達すると、アラームが鳴り始めます。

電池のセット/交換

- コインなどを使って電池ぶたをOPENの方向に回して電池ぶたを取り外します。
- ボタン電池(CR2032)の+側を上にしてセットします。※+を逆に入れると時計は動きません。
- リセットボタンを先の細いもので押します。
- 電池ぶたをもとの位置に取り付けます。

▲注意

水中及び濡れた手で電池蓋を開けたり、電池交換しないで下さい。本体に水滴が付いている時は、水分を拭き取して下さい。水が浸入し、故障の原因となります。

▲注意

電池ぶたの●印を本体の●印(LOCK)位置までしっかりと締めてください。また、ごみや髪の毛等を挟み込まないようにして下さい。水漏れ・故障の原因となりますので、必ず実行して下さい。

電池の取り出し方

▲注意

電池が取り出しにくいときは、この部分に「つまようじ」など、細い棒状のものを使って取り出して下さい。金属製のものは使えません。

▲注意

ボタン電池は+マークを上にしてセットしてください。